



シルバー通信

第 52 号 (2022 年度)

発行：大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会

連絡先 (事務所)：〒540-0024

大阪市中央区南新町 1-3-11 高分子工学ビル 303

FAX：06-6941-6568

ホームページ URL <http://sa-renkyo.sakura.ne.jp/>



就任の御挨拶

大阪府 シルバーアドバイザー連絡協議会
理事長 村松 秀明 (大阪市 SA 平成 29 年)



この度大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会(以下、府 SA 連協)の理事長に就任致しました、村松と申します。歴史ある当協議会を長年引っ張ってこられた新鞍前理事長の後を無事に務められるのか不安の中での出発ですが、皆様方のご協力とご支援を賜わりながら精一杯職務を全うすべく頑張る所存ですので何卒宜しくお願い申し上げます。

さて SA 連協の置かれた環境が非常に厳しい中、各地区 SA の皆さんが楽しく元気に活動できる事、そして皆さんの力の結集が図れる事を目標に今年 1 年その事に注力していきたいと思っています。昨年 1 年間役員会の中で SA 連協「在り方委員会」を開催、問題点の抽出、解決策について協議を重ねました。今年はその委員会報告に基づいての実践あるのみです。問題点・課題は皆さんも重々感じておられる通り構成会員の高齢化と役員の引き継ぎ問題です。33 年の歴史の中で、この事は 10 年前も 20 年前も言われておりました。シニアの団体が抱える宿命です。この事に対しては 2022 年方針(後述)の通り、創設の理念の再認識＝原点回帰という方針をあげさせていただきました。

SA 連協創設の理念・考え方を口酸っぱく内外に示し、同じ理念・考え方を持った方を大阪府のシニア 240 万人から探しあて一緒に活動する事だと思っています。言うのは簡単と言われそうですが SA 連協各地区の 621 名の志を持った会員が皆で同じ事を言って、様々な団体や個人に働きかければ、大きな力になり、その事から大きなうねりを生み出したいと思います。関係団体の皆さんも異口同音に SA 各地区会の社会貢献活動に賛辞をおくれます。褒められるだけではなく、一緒に活動するところまで行ければ良いと思います。何かをする時には一人より二人、二人より三人でやる方が楽しいに決まっています。取り巻く関係団体とのコラボ活動を是非実践していきたいと思っています。では今年 1 年楽しく元気に活動に取り組みましよう。

シルバーアドバイザー憲章

私たち、シルバーアドバイザーは永年にわたって貴重な知識や経験、技術を培ってきたことに高い誇りをもち、絶えず自らの生きがいの高揚につとめます。





在任期間 5 年間を振り返る



理事長 新鞍 清彦 (大阪市 SA 平成 22 年)

任期を 5 年で終了。村松理事長に、バトンタッチすることになりました。在任中には、皆様方のご協力とご支援を賜りましたことに厚く感謝申し上げます。

府 SA 連協の就任期間中の活動方針は『地区 SA の活性化への貢献活動』です。

府 SA 連協は「地区 SA が元気になるように作られた組織」であると理解します。地区 SA を活性化する方策は、

① 地区 SA の情報を吸い上げること。② 府 SA 連協が持っている情報と交換し合うこと。

その 2 点で、お互いの組織の相乗効果が期待されます。そのためには遠方から理事会に参加される地区 SA の参加者に有意義であったと感じていただける理事会を目指しました。

・「地区 SA 活性化の為の府 SA 連協の行動計画」

① 理事会予定時間 2 時間の内 1 時間は地区 SA の発表会か講演会に使い、残りの 1 時間は今まで通りの報告会としました。(特に講演会は高齢者に有意義なテーマにしました。)

② ブロック会議で地区の悩みや問題点を各地区リーダーと共に話し合い、解決策を見つける努力をしました。

③ 地区 SA の活動の源泉である委託金取得が大きな動機付けになります。委託金の情報や取得についての相談に応じる様努めます。(皆様と一緒に広告先及び受託先の開拓に努め実施しました。)

④ 府 SA 連協の最大の財産は「おもちゃクラブ」「歌体操クラブ」であるとの認識の下、活動の輪を広げ、新規貢献先の開拓に努めました。

・「関連組織との関係の深化」

① SA 認定機関の大阪府福祉部高齢介護室と月 1 回の報告など行い情報取得に努力しました、又両者の関係強化することで SA を理解いただき、有効な助言を頂く様努力しました。

② 高大と校友会の関係強化を図り、高大 3 階の広報コーナーに受講生向けに府 SA 連協専用のラックを設置し、地区 SA の広報チラシを置き、受講生の地区 SA の認知度を高め、新入会員の増加を図る様努めました、ここ 2 年間はコロナ禍で出来ませんでした ATC での親子おもちゃ教室は大変人気でした

③ 認定 NPO 法人大阪府北部コミュニティカレッジ (ONCC) との関係維持し、新規入会者の増加を図る様努めました。

④ 歌体操フェスタ、ブロック交流会等、各地区 SA に魅力ある活動を模索し具体化する様努めました。

⑤ 他の組織と共催イベントを模索し、具体化し定例化する様努め、委託金事業の増加に努力しました。

例：ATC おもちゃフェスタ、難波まつり、平和商事他

各地区 SA の皆様へ

地区 SA の皆様に於かれては、会員の高齢化が進む中で、新入会員の増加が進まない現状を打破するには、地区 SA の魅力ある活動が肝要です。各地区 SA の理事さんを通じて、府 SA 連協へ具体的な提案をお願いします。他の地区 SA も其の成功例を参考にして、具体化して魅力ある将来性のある地区 SA を作る努力をしましょう。(SA 東大阪、とよの・さと唄の会を新規に SA に参加いただきました。)最後に府 SA 連協の益々の発展と全会員の皆様のご健康を祈願し、退任の挨拶とさせていただきます。長きに渡るご支援有り難うございました。

◆◆令和3年度活動報告◆◆

1. 運営全般

- (1) 各地区SAの高齢化に対処するため、府SA連協としては月1回の会議を、地区SAの活性化に寄与する一番重要な業務と位置づけ、特に理事会開始前の時間を利用して各地区SAの問題点の発掘に努め、地区SAの情報交換の機会を増やし、地区SAの行事事例の発表を参考にし、各地区SAのSAの在り方を検討して、地区SAの活性化に努める様にしました。今後も府SA連協の最重要事項として継続し「地区SAの在り方」を検討して行く。
(特に南、中、北ブロックのおもちゃ交流会と歌体操交流会は学ぶ点が多いので、全部の交流会に参加し各地区の特徴を体感しました。)
- (2) 行政機関・関係団体との関係強化を図る
高大、ONCC、区民カレッジ、府民カレッジのSA養成講座の全受講生5%入会を図るべく取り組みましたが、その数字までは達成できませんでした。今後も、新規会員を受け入れる場合の新規貢献活動先の開拓と整備に努め、その為に積極的に意見具申や情報交換をしていく。また大阪府高齢介護室との関係を強化した。
(各地区に開校された府民カレッジとの交流を盛んにして、SAの会員の受け入れ素地をつくるのが少しずつ出来つつありました。再度メールでクラスディレクターとコミュニケーションを取るよういたします。)
- (3) 新規会員増の取組について
府SA連協全19地区SAの会員を少しでも増すため、新規地区SA(豊能地区)の立ち上げを行い、今後会としての軌道に乗せるべく引き続き応援して行く予定。
- (4) 貢献活動先開拓(幼稚園、小学校、老健施設、デイサービス施設、支援学校、物販店等)
新規貢献活動先の開拓には知人の紹介などで実現するのが早道なので、お互いに情報交換に努めた。藤井寺SAでは支援学校に関係を持つことができた、それは成功例の一つです。
(新規入会者の活動の場として多くの貢献活動先の構築は重要)
- (5) 大阪労働者福祉財団の申請について
現在大阪府SA連協主催の歌体操フェスタで申請して毎年50,000円いただいておりますが、簡単な申請と報告で助成金を頂けます。既にSA八尾柏原が受託して助成を受けました。
- (6) イベント等の委託事業(広告も含む)について
委託事業を積極的に取り込み実施し、地区SAがそのイベントに交流することで活性化し、情報交換や提携も盛んになり組織強化の効果が出来つつあるように思われる。11月に行っているATCおもちゃフェスタが良い例です。今度おおさか法務事務所から広告費として30,000円の広告代を受領する。過去に広告代として4件受注しており、今後も模範例として受託事業を増やすべく活動をお願いいたします。

1-2 会議の開催状況
定例会

SA 有り方委員会及び講演会	毎月1回	原則第1木曜日 13:00~13:50 開催	(9回実施)
理事会	毎月1回	原則第1木曜日 14:00~15:00 開催	(9回実施)
役員会	毎月1回	理事会日 10:30~12:00 開催	(11回実施)
ブロック交流会	年6回	偶数月の理事会の日 15:30 開催	(5回実施)
各部門会	年6回	奇数月の理事会の日 15:30 開催	(5回実施)

◆◆各部門・部会の活動報告◆◆

◇渉外部◇

村松 秀明 (SA大阪市 平成 29 年)

2 渉外部

2020 年度に続いて 2021 年度もコロナに明け暮れた 1 年でした。その中で渉外部は部長が交代し新鞍理事長と共に区民カレッジ・府民カレッジとの新たな関係づくり、大阪府介護支援室との良好な関係作りにつとめました。区民・府民カレッジと新たに開ったが関係づくりについては、其々の理事長とのトップ会談を企画しました。本年度は府民カレッジのみの実施で区民カレッジは延期となりましたが其々において、お互いの目指す事の理解は進んだと思います。この事は次年度持ち越しの課題と致します。

大阪府介護支援課との関係作りという事では定期的な訪問で当初の計画は達成できました。また大阪府の実施している「ええまちプロジェクト」に参加し、その中で今後 SA 連協として取り組めるものが無いか、参考にできるものは無いか検討しました。又期初に計画したその他の内容についての結果は以下の通りです。

【活動報告】

1. 高大、区民・府民カレッジの SA 認定授与式については、コロナの為に行われませんでした。
2. 高大フェスタ等各種団体の行事については中止となりました。
3. 高大グループへの会員募集説明会は中止でした。
4. ONCC SA 認定式 高大と同じく実施されませんでした。
5. 大阪マラソンへのボランティア参加 大阪市連協が 2 チーム、吹田、茨木、藤井寺の各地区会より各 1 チームの計 5 チームが参加致しました。
6. 行政との関係づくりについては上記纏めの通りです。
7. 企業・団体の窓口の関係構築については従来新鞍理事長が関係作りをされていた以上の事は出来なかった。



2-1 健康管理部会

笠原 俊生 (大阪市 SA 平成 30 年)

フレイル予防啓発の普及活動

1. 今年度はコロナ禍の影響で会場規制が生じ調整に苦慮した 1 年であった。
その中で ONCC をはじめ府・区民カレッジ・府 SA 連協地区 SA を通じて「フレイル予防講座」を 18 回（延べ 624 名）開催できました。併せて SA 連協の活動内容紹介をおこないました。
また、小学校の食育講演「バナナうんちで元気な子」を開催しました。
2. 講師/フレイル予防サポーターの活動能力のレベルアップ
現在は、6 名の講師で活動をしております。
3. 外部関係機関と連携し予防講座の広報活動
大阪府民カレッジ、大阪区民カレッジ、ONCC 等を中心に健康寿命の延伸について予防の広報活動を行ないました。
また、コロナ禍における感染防止に関して大阪府高齢介護室、及び関連団体と連携を深め情報収集に努めました。

[年間の活動実績：2021 年 4 月～2022 年 3 月]

	開催先	開催数	出前講座の開催団体					参加人数
			西校	みなと校	東成校	北校	中央校	
1	区民カレッジ (ﾌﾟﾚｲﾙ講座)	5	西校 (32)	みなと校 (30)	東成校 (34)	北校 (35)	中央校 (41)	172 名
2	府民カレッジ (ﾌﾟﾚｲﾙ講座)	4	ひらかた 校 (45)	高槻 北摂校 (43)	大東 四條畷校 (37)	豊能校 (26)		151 名
3	ONCC (ﾌﾟﾚｲﾙ講座)	7	蛍池 (19)	吹田 (43)	吹田 (17)	千里中央 (45)		190 名
4	府 SA 連協 (ﾌﾟﾚｲﾙ講座)	1	SA 吹田 (39)					39 名
5	小学校 (食育講演)	1	大阪市立矢田東小学校 1～2 年生 「バナナうんちで元気な子」					72 名
	合 計	18	() は当日会場の参加総人数					624 名

◇交流活動部 (部門理事 11 名) ◇

澤 和夫 (SA 茨木 平成 13 年)

下田 英二 (S A 箕面豊能 平成 21 年)

3 交流活動部

2019 年の年末に端を発したコロナ禍、「緊急事態宣言」「まん延防止等重点措置」の発令で収束のめどが立たない 2021 年度もあつという間に過ぎ去りました。

そんな中、各部会とも十分なコロナ感染対策を行いメンバーの協力で多くの活動ができた。

歌体操部会では部会 3 回中止、ブロック交流会は各ブロック実施し歌体操フェスタ 2022 も無事終了した。

おもちゃ部会では部会 4 回中止、ブロック交流会は各ブロック実施し、10 月の船場まつりに参加した。

各地区 SA では昨年同様、施設訪問などのボランティア活動はほとんどが休止となり、次年度はコロナの収束を願い、更なる活発な活動を期待する。

3-1 歌体操部会

梶山良子 (大阪市 SA 平成 11 年)

・歌体操部会報告

部会員：22 名 (中ブロック：9 名、南ブロック：6 名、北ブロック：7 名)

(6 月より 2 名、11 月より 1 名の部会員入会があった)

1、今年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響で年度初めの 4 月部会は開催出来ず休会となった。5 月になって世話役の選任 (各ブロックの正副ブロック長、会計) を行い、新しい体制でスタートした。

2、歌体操部会 (定例会) / 毎月 1 回第 4 月曜日 午前 10 時～12 時

大阪市立生涯学習センターで 連絡、情報交換、と実技研修を行った。

月/日	4/26	5/24	6/28	7/26	8/23	9/27	10/25	11/22	12/27
参加人数 (名)	中止	中止	16	19	中止	18	20	19	21
月/日	1/24	2/28	3/28						
参加人数 (名)	21	21	21						

3、歌体操ブロック研修交流会（地域親睦と活性化を図るため）

ブロック名	実施日(2021年)	場所	参加人数(名)
北ブロック	11月3日	吹田市夢つながり未来館	90
南ブロック	11月10日	堺市総合福祉会館	80
中ブロック	12月8日	大阪市東成区民センター	90

4、歌体操各種イベントへ参加

イベント名	実施日(2022年)	場 所	参加人数(名)
SA 連協歌体操フェスタ 2022	3月9日	堺市総合福祉会館	300

3-2 おもちゃ部会

島田 道子 (SA 守口 14 年)

・おもちゃ部会報告

今年度はコロナ感染拡大第 4 波にはじまり、それ以降は変異株による影響で拡大が急速度となった。

おもちゃ部会においては、6 回の開催予定が 10 月と 12 月の 2 回開催となり部会員さんのモチベーションも下がった。そういう状況下で「ブロック別おもちゃ交流研修会」は各ブロックとも特色ある研修会になった、また おもちゃ部会として従来から参加していた、ATC「親と子どものおもちゃ教室」、校友会フェスタ等はコロナウィルス感染拡大防止のため中止となったが 10 月開催の「船場まつり」に参加した。

次年度はおもちゃ部会の活発な活動ができるよう、コロナ感染拡大の収束を祈念する。

1、おもちゃ部会（定例会）／偶数月 第 2 火曜日 1:30~3:30

大阪府中央区民センター、双馬ビル で実施。

開催月日	開催状況
4月6日	中止 中央区民センター
6月8日	中止 中央区民センター
8月10日	中止 双馬ビル
10月12日	双馬ビル 19名参加 講師：山下氏 動くカラクリ・タラヨウ
12月14日	双馬ビル 19名参加 講師：千種氏 紙てまり・トラの折紙
2月8日	中止 中央区民センター

2、ブロック別おもちゃ交流研修会

ブロック	開催日	開催場所	主催	参加人数
北ブロック	11月25日	オークシアター	SA茨木	19名
中ブロック	1月7日	天王寺区民センター	大阪市SA	29名
南ブロック	10月4日	堺社会福祉会館	SA堺	23名



歌体操フェスタ



船場まつり

◇広報部（部門理事 5 名）◇

大川 正彦（SA藤井寺 平成 18 年）

4 広報部

2021 年度活動報告（2021.4～2022.3）

【活動目的】

1. 府 SA 連協と地区 SA の架け橋となる広報活動を目指す。
2. 地域での SA 活動の知名度（認知度）の向上を目指す。
3. 関係団体との関係強化のツールとなる広報を目指す。
4. ホームページ、ブログなどネットでの広域活動、助成金情報などの共有化を目指す。
5. 「新 SA あり方委員会」プロジェクト参加。

【活動報告】

1. 2021, 8 月より「新 SA あり方委員会」広報プロジェクト立ち上げる
広報グループ、渉外グループ、交流活動グループ、(オンライン(ZOOM 会議)で連携活動行う。
2. 広報誌部会。下記
3. ブログ研究部会。下記
4. ホームページ、管理部。下記

4-1 広報誌部会

大川 正彦（SA藤井寺 平成 18 年）

【活動報告】

- 1 府 SA 連協「シルバー通信 51 号」(前年度報告、当年度計画)を配布、R3 年 6 月発行。
- 2 高大機関誌「れいんぼー」に校友会員として寄稿する
・年 3 回・2021 年 9 月・2022 年 1 月・2022 年 3 月。
- 3 地区 SA のチラシ更新随時行った。
- 4 対外行事=高大関連、ONCC 関連、校友会関連、会員募集コロナ禍で総て中止。
- 5 「新 SA あり方委員会」広報グループ活動毎月 1~2 回 (ZOOM 会議)を実施下記アクションプラン設定。
 - ・府 SA 連協・地区実態調査。10 の設問に対する回答分析。
 - ・数字による全体集計&グラフ化・記述による全体集計&グラフ化・数字による地区別集計&グラフ化
 - ・10 の設問全体のランキングワースト 3・2011 年度比 地区別 SA 体制調査
 - ・府 SA 連協への要望回答 (Q-9)。地区 SA の要望書回答役員の意見収集ランキング化
 - ・ボランティア個人還元施策、(厚労省ポイント制度)。

- ・表彰「地区シニアレジェンド（伝説の人）」感謝状授与。
- ・実態調査から南ブロックの体制強化対策必要。新 SA 発足推進（富田林・岸和田地区）
- ・新会員確保の為の新パンフレット作成。単品チラシ提案も全面要望で来期持ち越し。

4-2 ブログ研究部会

大橋 清（大阪市 SA 平成 27 年）

【活動報告】

- 1 ブログを使って、府 SA 連協および各地区 SA の日常活動をタイムリーに、ビジュアルに
 - ・見やすく提供する事を目指した。
 - ・スキル向上を目指したが、コロナ禍（3 密対策）の為、年間 5 回しか開催出来なかった。
- 2 地区ブログ普及とスキル習得のため会員募集を図るも、コロナ禍（3 密対策）の為？強化策低調に終わる

4-3 ホームページ管理部会

新鞍 清彦・大川 正彦

【活動報告】

*府 SA 連協の情報の交差点、広報としてのホームページを目指す。

- 1 「地区概要ホームページ」、2021 年度更新、新ありかた委員会推進事業で遅れ、2021 年 2 月～3 月。11 地区協力。
- 2 「広報トピックス」R3 年度は「コロナ禍」で渉外部・交流活動部活動中止多く地区の活動を *アップする、アップ事例
- 1 渉外部＝ONCC 修了生説明会 3 月・健康管理部会年間契約フレイル予防講座
- 2 交流活動部「歌体操交流会報告＝北中南ブロック」・「おもちゃづくり交流会報告北中南ブロック」（各部門原稿依頼）
- 3 広報部＝シルバー通信 51 号、地区活動紹介＝SA 八尾・柏原主催ふれあい祭り
SA ひらかた主催「子どもいきいき広場」枚方市表彰

「新 SA あり方委員会」プロジェクト推移（2021.8～2022.3）

1, 旧 SA あり方委員会プロジェクト検証会

（敬称略）

（*メンバー 和佐、木場、小川、村松、大川）

- 1, ZOOM 会議プロジェクト検証会 1 回 7/17 2 回 7/25 3 回 8/14。
- 2, 「新 SA あり方委員会」プロジェクト（案）役員意見集約 2022.8.1

2, 新 SA あり方委員会プロジェクト発足会 8 月理事会にてプレゼンスタート

- 1, 新 SA あり方委員会プロジェクトスタート 2021.10. 7
- 2, グループ別活動＝・渉外活動・交流活動・広報活動
- 3, 地域全 SA 実態調査アンケート開始*アンケート 9 月回収・中間報告 10 月理事会にて

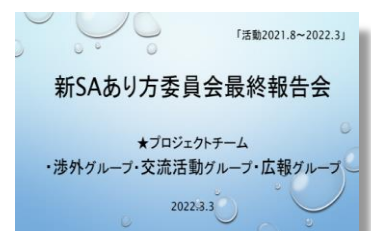
3, 新 SA あり方委員会「中間報告会」（11 月理事会）

- 1, グループ別取組み報告 11 月～・渉外 G・交流活動 G・広報 G
- 2, 地区 SA 実態調査アンケート報告 11/4
- 3, R4 年 1 月理事会・府 SA 連協への要望回答

4, 新 SA あり方委員会「最終報告会」（3 月理事会）

- 1, 渉外グループ 発表 村松リーダー（村松・新鞍・下川）
- 2, 交流活動グループ 発表 小川リーダー（小川・下田・澤・元坂）
- 3, 広報グループ 発表 大川リーダー（大川・中島・笠原）

※地区 SA 貢献（シニアレジェンド）12 名に感謝状授与。



第 2 号議案

大阪府 SA 連協会計決算報告

期間(2021年 4 月 1 日～2022年 3 月 31 日)

収入の部				
科目	2020 年度実績	2021 年度予算	2021 年度実績	備考
前年度繰越	392,048	337,383	337,383	
会費	133,200	126,000	122,200	200 円×611 人
利息	2	2	2	
事業収益	25,500	100,000	6,269	イベント事業収益
助成金 1	130,000	0	0	大阪ガス福祉財団
助成金 2	50,000	50,000	50,000	大阪労働者福祉財団
助成金 3	0	30,000	0	大阪府高齢者大学校
ATC おもちゃイベント	0	100,000	0	ATC イベント
広報誌広告収入	60,000	30,000	30,000	大阪法務事務所
雑収入	66,945	30,000	81,516	ブログ研究部会費・会場費返金他
収入合計	857,695	803,385	627,370	
支出の部				
活動費	32,000	50,000	36,000	理事・役員交通費
会費	6,000	6,000	3,000	SA ネット大阪、区民カレッジ
事務費	72,185	70,000	87,442	会場費、コピー代他
歌体操	0	100,000	101,200	歌体操フェスタ
歌体操	10,000	40,000	40,000	研修費・交流会補助
おもちゃ	20,000	30,000	30,000	研修費・交流会補助
ブログ・ホームページ	30,500	70,000	36,081	
健康管理部	10,000	10,000	10,000	研修費・交流会補助
シルバー通信	104,050	37,000	37,107	
PR 資料他	31,862	10,000	0	
ユニフォーム	161,348	0	0	
おもちゃイベント経費	20,685	100,000	0	
予備費	21,682	30,000	29,488	シニアレジェンド表彰経費
支出合計	520,312	553,000	410,318	
繰越金	337,383	250,385	217,052	
合計	857,695	803,385	627,370	

新鞍清彦理事長殿

以上の通り今年度の会計決算を報告します。

2022 年 3 月 31 日

事務局長 中島英征

会 計 下川順夫

会計監査報告書

上記、会計に関する帳簿、証拠書類、現金等につき厳正に監査致しました。

その結果、適正に的確に処理され正確であることを証し、ここに報告します。

2022 年 4 月 1 日

会計監査 宮地和子

◆2022年度活動計画◆
—2022年度役員体制—

役 職	氏 名	入 会 年
理事長	村松 秀明	29年 大阪市
副理事長兼渉外部長	手塚 之博	29年 吹田
副理事長兼交流活動部長	下田 英二	22年 箕面・豊能
副理事長兼広報部長	大川 正彦	18年 藤井寺
事務局長	中島 英征	19年 茨木
事務局次長・特命担当	小川 忠夫	18年 吹田
事務局次長・おもちゃ部会長	上山 乃婦子	20年 堺
事務局次長・健康管理部会長	笠原 俊生	30年 大阪市
事務局次長・特命担当	竹内 周次	R-4年 大阪市
会計	下川 順夫	17年 高槻
書記	元坂 道幸	10年 河内長野
幹事・歌体操部会長	梶山 良子	11年 大阪市
幹事・さと唄の会部会長	上山 秀雄	R-3年 豊能
幹事・ブログ研究部会長	大橋 清	27年 大阪市
顧 問	新鞍 清彦	22年 大阪市
監 事	泉川 渥洋	府民カレッジ理事長



2022年度役員メンバー
手塚氏・竹内氏・上山氏（当日欠席）



2022年度理事会メンバー
懇親会

◆◆令和 4 年度活動方針◆◆

(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

理事長 村松 秀明 (大阪市 SA 平成 29 年)

1. 活動方針＝原点回帰

(1) 2021 年度 1 年にわたって「新 SA あり方委員会」で話し合われて出された報告・提案を今年度以降の活動方針にしたい。

①地区 SA が元気になれば府 SA 連協も元気になる

- ・地区での活動の活発化

- 歌体操の未取り組み地区の取り組み支援

- 他地区の成功事例のノウハウの共有化-----地区毎事例発表の場づくり

- ・理事会当日の講演会の継続で地区活動の参考にする。

- ・有償ボランティアへの一助としてポイント制度の利用・助成金の取得をはかる。

②行政機関・関係団体との関係強化を図る

- ・大阪府高齢者大学校、ONCC、大阪区民カレッジ、大阪府民カレッジ其々のトップとの意思疎通を図り、その目指す方向を良く理解し、共通する目的に向かって共に進んでいく。

特に各地区の大阪府民カレッジとの交流を盛んにして SA 資格取得者の会員の受け入れ素地を作る。

- ・大阪府高齢介護室との関係を強化する。



(2) 新規会員増の取組について

①活動内容の多角化をはかる。

②活動者を増やし、その中から取りまとめの人を作っていく。

③貢献活動先の開拓

- ・幼稚園、小学校、老健施設、デイサービス施設、支援学校、物販店舗等 新規貢献活動先の開拓には知人の紹介などで実現するのが早道なので、お互いに情報交換に努める。新規入会者の活動の場として多くの貢献活動先の開拓に努める。

(3) イベント等の委託事業（広告も含む）を積極的に取り込み実施することで、地区 SA 組織の活性化に努める。

(4) ビジョン委員会を新たにつくり SA 連協の次を担う人材の交流をはかる。

- ・他団体との交流を盛んにして、提携をして、組織強化を図る。

- ・定例役員会・理事会の運営は従来通り以下の通り開催

地区 SA 発表会及び講演会	毎月 1 回 原則第 1 木曜日 13:00～13:50 開催
理事会	毎月 1 回 原則第 1 木曜日 14:00～15:00 開催
役員会	毎月 1 回 理事会日 10:30～12:00 開催
ブロック交流会	年 6 回 偶数月の理事会の日 15:00 開催
各部門会	年 6 回 奇数月の理事会の日 15:00 開催

◆◆各部門・部会の活動計画◆◆

◇渉外部◇

2 渉外部

手塚 之博 (SA吹田 平成 29 年)

【活動目的】

2020 年度、2021 年度とコロナウィルスに翻弄された 2 年を過ごし、今年度からはウィズ・コロナへ舵がきられる事を期待し活動をコロナ以前の水準に引き上げたいと思います。

2021 年度 1 年間にわたって「新 SA あり方委員会」が開催されました。その委員会報告を今後の活動指針として活動をおこなっていききたいと思います。

【活動計画】

各種団体の行事に参画し、共催・後援等を通じ地域の認知度を高めていく。また大阪府の企画する「ええまちプロジェクト」にも参画し、活動者を増やしていく為に新規活動を模索していく。

《参加行事》

- 1、高大、区民・府民カレッジの SA 認定授与式
- 2、ONCC SA 認定授与式（北ブロック交流会参加）
- 3、高大祭・高大スポーツ交流大会・府民カレッジ祭り
- 4、高大・高大グループへの会員募集説明会
- 5、大阪マラソン
- 6、大阪国際女子マラソン
- 7、行政との良好な関係を維持し SA 活動の認知度を上げると同時に情報収集に努める。
- 8、行政窓口 大阪府福祉部 府民文化部
- 9、企業・団体の窓口との関係構築をはかります。
- 10、企業においては CSR 部門との関係を作り活動についての様々な情報を得られるように致します。

関係協会・企業＝大阪ガス(株)、その他企業

関係団体＝大阪府社会福祉協議会 その他団体

2-1 健康管理部会

笠原 俊生 (大阪市 SA 平成 30 年)

【活動目的】

2025 年問題として超高齢化社会の進行に伴い「健康寿命の延伸」をめざして、更なる予防意識向上の啓発普及を図るためにフレイル予防講座（講演）の開催を積極的におこないたいと考えております。併せて、元気なシニアの SA 会員募集に寄与していきたいと想い、募集活動を広めていきます。

【活動計画】

- ① フレイル予防啓発で健康寿命の延伸を普及
 - ・ NPO 法人大阪府民カレッジ・区民カレッジ・認定 NPO 法人大阪府北部コミュニティカレッジ (ONCC) 等の健康講座を通じて予防啓発の普及に努めます。
 - ・ SA 連協の地区 SA の要望に応じて出前講座（講演）を行います。
- ② フレイルサポーター（講師）の活動能力のレベルアップ
 - ・ 講師の増員養成で活動の領域を拓げる。
 - ・ フレイルサポーターの相互研鑽のため、他の団体の講演会を受講する。
- ③ 外部団体の関係機関との連携と広報啓発活動

- ・他の団体のイベントに出展参加して、健康寿命延伸に繋がる広報啓発に努める。
- ・大阪府高齢介護室との連携に努め、健康啓発情報の収集を図る。
- ・健康関連団体との連携を深め、健康に関する啓発情報を得る

[活動予定期日]

	開催先	開催期日 (予定)			2022 年 3 月現在		
1	ONCC	R5 : 1/12 くるくるプラザ					
2	区民カレッジ	6/13 城東校	10/3 北校	12/12 東成校	R5:1/16 西校	R5:2/6 みなと校	
3	府民カレッジ	9/20 大東四條畷校	11/11 高槻 北摂校	R5:2/24 豊能校			
4	第 4 7 回とよなか 市民健康展へ出展	12/4	豊中市立文化芸術センター				

※ [活動予算の申請額]・10,000 円 (啓発普及の教材・広報媒体物作成の一部)

2-2 「とよの・さと唄の会」部会

上山 秀雄 (SA とよの 令和 3 年)

地域に残る「さと唄」を、次の世代に繋ごう・・・が活動の合言葉

今年度の活動の柱は「さと唄の会」下部組織の新設

①寺社巡り部 ②拓本部 ③写真部 ④カラオケ部

などを新設し会員間のコミュニケーション作りを再構築、わらべ歌だけでなく広く同好の仲間を集めたい。

※今年の夏ごろまでに、わらべ歌・子守歌・民謡等…歌集 (70 歌) に纏める。

歌集を持って各行政・社協・図書館・福祉施設等への営業 (訪問)

わらべ唄の支部作りに入る。支部作りがメインとなる。

※今年度は能勢町の教育委員会に出向き能勢町民のさと唄の同好会新設に向け働きかける。

2-3 国際交流部会

手塚 之博 (SA 吹田 29 年)

【活動目的】

国籍を超え、様々な文化の理解を通して多文化共生社会の実現を図ります。

今後日本に於いて益々グローバル化が進み、多くの外国人と共に生きていくという現実の中で、異文化理解は必要不可欠なものです。活動をする事で、共に助け合い、支え合って生きていく社会をつくる一助にしたいと考えます。

【活動計画】

現在活動を行なっている SA ネット大阪、SA 吹田、SA 高槻の活動を他の地区 SA にも広げていく提案を行ないます。具体的には大阪府在住の留学生との交流活動を通しての多文化交流活動、海外で日本語を学ぶ若者達とのオンライン交流活動等、日本語での交流活動を進めていきます。

◇交流活動部◇

下田 英二 (SA 箕面・豊能 平成 22 年)

3 交流活動部

【活動目的】

交流活動部の組織力を強化し、歌体操、おもちゃの活動を通じて各地区 SA との交流の活性化を目指す。

【活動計画】

- 1、歌体操部会、おもちゃ部会は毎月定期的に部会と研修会を実施し、情報交換と技術の向上を図る。
- 2、歌体操部会、おもちゃ部会は年一回各ブロック（北、中、南）交流会を実施する。
- 3、SA 全体のイベントとして「府 SA 連協歌体操フェスタ 2022」を開催する。
- 4、関連団体の行事(船場まつり・ATCおもちゃフェスタ)等に積極的に参加する。

3-1.歌体操部会

梶山 良子 (大阪市 SA 平成 11 年)

【活動目的】

部会と研修実技を通じて、各地区 SA の情報の共有化と技術向上、普及、および親睦を図る。

【活動計画】

1、部会の実施

毎月 1 回 年間 12 回 第 4 月曜日 AM10:00~12:00

会議と実技の研修を行う。

会場：大阪市立生涯学習センター（大阪駅前第 2 ビル 6F）

2、各ブロック（北、中、南）交流会を実施

地域親睦と交流を図るため年 1 回担当地区 SA 持ち回りで行う。

3、府 SA 連協[歌体操フェスタ 2022]の実施

大阪府下の歌体操の仲間が集まって楽しいイベントを 3 月に行う。

4、SA 関連団体のイベントなどに部会として積極的に参加する。

3-2.おもちゃ部会

上山 乃婦子 (SA 堺 平成 20 年)

【活動目的】

各地区 SA の情報を共有し活性化を図る、また技術の向上を目指す。

【活動計画】

1、おもちゃ部会の実施

時期：隔月 1 回 偶数月の第 2 火曜日 PM 1:30~3:30

会場：大阪府中央区民センター

運営：各ブロック（南、中、北）、代表 1 名を選出し、役員を依頼する。

講師：各ブロック（南、中、北）、講師を依頼する。

講師を新しい方をお願いすることによって、新講師の発掘と養成をする。

会費： 1 回 200 円 徴収

2、年 1 回 各ブロック（北・中・南）交流会の実施

3、部会員の活動の実践場所を広げ、イベント(船場まつり・ATCおもちゃフェスタ)などに積極的に参加する。

◇広報部◇

大川 正彦 (SA 藤井寺 平成 18 年)

4 広報部

【活動目的】

1. 府 SA 連協と地区 SA の架け橋となる広報活動を目指す。
2. 地域での SA 活動の知名度（認知度）の向上を目指す。
3. 関係団体との関係強化のツールとなる広報を目指す。
4. ホームページ、ブログなどネットでの広域活動、助成金情報などの共有化を目指す。

【活動計画】

1. 高大内 3 F、常設新パンフレットスタンドのメンテを当番制で維持し、受講生向けの SA 連協パンフレットや地区 SA のチラシを広報配布する。
2. 新 SA あり方委員会の積み残し課題を整理推進する。新 SA あり方委員会プロジェクト検証下

記 4-1 広報誌部会

大川 正彦 (SA 藤井寺 平成 18 年)

【活動目的】

1. 情報誌・PR チラシ等の文書情報での情報発信を行う。
2. SA ファンづくり（情報誌・PR チラシ等）で会員募集確保を行う。
3. 情報誌・パンフレット・PR チラシ等で地区 SA の活性化、先進活動の共有化を行う。

【活動計画】

1. 府 SA 連協・シルバー通信 52 号（前年度報告, 当年度計画）を発行、全会員に配布する。
（年 1 回配布 6 月予定）
2. 高大機関誌「れいんぼー」に校友会、会員として寄稿する。年 3 回(1 月、3 月、9 月)
3. 府 SA 連協の PR パンフレット、地区 SA のチラシ（更新随時）等のツールを使い高大関連行事・ONCC 関連行事・校友会関連行事等で募集活動に利用。
4. 新 SA あり方委員会プロジェクトの積み残し課題を整理推進
 - ・新地区 SA（富田林・岸和田）推進
 - ・有償ボランティア（厚労省個人還元）ポイント制度推進

4-2 ブログ研究部会

大橋 清（大阪市 SA 平成元年 27 年）

【活動目的】

1. ブログを使って、府 SA 連協および各地区 SA の日常活動をタイムリーに、ビジュアルに、見やすく提供する。そのためのスキル向上を目指す。

【活動計画】

2. ブログ各地区の現状分析=A 毎月更新地区。B 更新が止まっている地区。C ブログ担当者がいない地区。「A ブロック、B ブロック、C ブロック」地区分けの当初計画は一巡。人的確保が、難しい地区 SA が残り、見直しの時期が来ている
講師=専任、会場、新鞍顧問事務所の提供等の工夫で、ブログ研究部会のスキル向上強化を図るも、会場コロナ禍 3~4 人限度、運営難しくなっている。部会修了生同士の交流が次の課題

4-3 ホームページ管理部会

村松 秀明・大川 正彦

【活動目的】

1. 府 SA 連協の情報の交差点としてのホームページを目指し、ホームページの、企画、維持管理に努める。

【活動計画】

1. SA 連協、各地区概要ホームページ更新、令和 3 年度（12 地区）。令和 4 年度もフォーマット作成しより多く推進する。
2. 府 SA 連協 HP「広報トピックス」コーナー、各部門・渉外・交流活動・広報の継続スキルアップ各部門に原稿依頼回収編集後アップする。
3. SA 連協ホームページアクセスが年間通じ 20%と低調続いて居るので実態調査アンケートを行うも、回答の無い地区 SA もあり、現状実態が不透明。
4. 地区 SA の活性化、先進活動に理事会での講演会のフィードバック、助成金情報、共有化・活性化に寄与する。
5. ブロック交流行事（歌体操・おもちゃづくり）・本部行事（歌体操フェスタ・ATC 親子おもちゃづくり）各部門に原稿を依頼し広報がまとめアップする。
6. 「新 SA あり方委員会」ストーリー、プロセスを整理しホームページにアップする

		
コードダイ文化祭参加ブース	第 11 回歌体操フェスタ画面	地区 SA・HP 概要画面

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会3ブロック交流会報告

1. 北ブロック交流会活動報告 ブロック長 下田 英二

北ブロック 5 地区

- ◆北ブロック歌体操交流会／11月3日(火) 夢未来館（阪急山田）。
- ◆北ブロックおもちゃ交流会／11月25日(木) 茨木市社会福祉文化会館。
- ◆ATC 親子おもちゃ教室／中止
- ◆船場まつり／10月2日(土)3日(日) 難波神社。
- ◆ONCC 9期生入学式／中止
- ◆ONCC ふれあい交流祭／中止
- ◆ONCC SA養成講座 修了生との交流会／1月13日(木) 豊中市福社会館。
- ◆ONCC 8期生 SA 認証式／中止。

※トピックス記事 地区 SA 活動に貢献シニアレジェントに感謝状。

SA 高槻・才木節雄氏 SA 茨木・澤和夫氏・熊野光氏 SA 吹田・三好桂子氏
・船田弘子氏・林侑子氏 6名感謝状授与しました。

2, 中ブロック交流会活動報告 ブロック長 笠原 俊生

中ブロック 7 地区

- ◆おもちゃ交流会：令和 4 年 1 月 7 日（金）13：00～16：00
 - ・場所：天王寺区民センター 6SA 地区が参加
- ◆歌体操交流会：中ブロック：令和 3 年 12 月 8 日（水）13：00～16：00
 - ・場所：東成区民センター小ホール 延 98 名の参加
- ◆府 SA 連協歌体操フェスタ 2022：令和 4 年 3 月 9 日（水）13：00～16：00
 - ・場所：堺市立総合福祉会館ホール 3 年ぶりの開催で約 300 名の参加
- ◆第 11 回寝屋川公園フェスティバル：コロナ禍で中止
- ◆ATC フェスティバル「ATC 親子おもちゃ教室」コロナ禍で中止
- ◆大阪マラソン：令和 4 年 2 月 27 日（日）8：00～12：00 ボランティア参加

※トピックス記事

- ・新 SA あり方委員会が発足して、地区 SA 活動に貢献した方（在籍 15 年・85 歳以上）で、大阪市 SA の富田幸造氏、梶山良子氏、SA 交野の服部幸子氏 SA 大東の山本和子氏の 4 氏が、新鞍理事長より感謝状が授与されました。

3, 南ブロック交流会活動報告 ブロック長 松田 嘉威

南ブロック 5 地区



- ◆第 10 回大阪マラソン 2 月 27 日 SA 藤井寺 8 名参加。
- ◆ATC 親子おもちゃ教室中止。
- ◆南ブロックおもちゃ交流会 10 月 4 日 堺 SA 担当。
- ◆南ブロック G 歌体操交流会 11 月 10 日 SA 藤井寺担当。
- ◆府 SA 連協歌体操フェスタ 3 月 19 日 担当南ブロック＝堺 SA 担当。

※トピックス記事

- ①堺 SA、市民対象の歌体操ボランティア養成講座、5 回シリーズ開催。
- ②SA 藤井寺、区民カレッジ主催＝小学校授業「古きよき昔あそび」3 校参加もコロナ禍で、実施は 1 校中大江小学校で終わる（この企画は継続）。

*地区 SA 活動に貢献のシニアレジェンドに感謝状。

堺 SA・畠田玲子氏・三浦陸明氏 2 名感謝状授与しました。

		
<p>北ブロック・おもちゃ交流会</p>	<p>中ブロック・歌体操交流会</p>	<p>南ブロック 小学校ボランティア</p>

第 5 号議案

2022 年度大阪府 SA 連協会計予算

期間(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

科 目	2021 年実績	2022 年予算	備 考
収入の部			
前年度繰越	337,383	217,052	
会費	122,200	116,000	200 円×580 人
利息	2	2	
事業収益	6,269	100,000	イベント事業収益
助成金 1	0	0	大阪ガス福祉財団
助成金 2	50,000	50,000	大阪労働者福祉財団
助成金 3	0	30,000	大阪府高齢者大学校
ATC おもちゃイベント	0	100,000	ATC イベント
広報誌広告収入	30,000	30,000	
雑収入	81,516	30,000	ブログ研究会費他
収入合計	627,370	673,054	
支出の部			
活動費	36,000	36,000	理事・役員交通費
会費	3,000	3,000	NPO・SA ネット大阪
事務費	87,442	50,000	会場費、コピー代他
歌体操	101,200	80,000	歌体操フェスタ補助金
歌体操	40,000	40,000	研修費＋交流会補助
おもちゃ	30,000	30,000	研修費＋交流会補助
ブログ・ホームページ	36,081	54,000	
健康管理部	10,000	10,000	
シルバー通信	37,107	37,000	
PR 資料他	0	10,000	PR チラシ他
おもちゃイベント経費	0	100,000	ATC・他
予備費	29,488	30,000	講演会謝礼・他
支出合計	410,318	480,000	
繰越金	217,052	193,054	
合計	627,370	673,054	



2022 年大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会理事



(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)

NO	地区名	氏名	役職	入会年
1	大阪市 SA	村松 秀明	理事長	29 年
2	〃	松木 健一	地区会長	30 年
3	〃	梶山 良子	歌体操部会長	11 年
4	〃	笠原 俊生	健康管理部会長	30 年
5	〃	竹内 周次	事務局次長	R4 年
6	〃	大橋 清	ブログ研究部会長	27 年
7	〃	新鞍 清彦	顧問	22 年
8	SA 池田	栗谷 美智子	地区理事	29 年
9	SA 箕面・豊能	下田 英二	交流活動部長	22 年
10	SA とよの	上山 秀雄	とよの/さと唄の会部会長	R3 年
11	SA 吹田	小川 忠夫	事務局次長	18 年
12	〃	手塚 之博	渉外部長	29 年
13	SA 茨木	中島 英征	事務局長	19 年
14	SA 高槻	下川 順夫	会計	17 年
15	SA 守口	島田道子	地区会長	14 年
16	SA ひらかた	子川 智康	地区会長	15 年
17	SA 交野連絡会	田中 暁子	地区会長	12 年
18	SA 大東の会	野口 紀子	地区会長	18 年
19	SA 東大阪	片山 憲一	地区会長	31 年
20	SA 八尾・柏原	二葉 登代子	地区理事	15 年
21	SA はびきの	松田 嘉威	地区会長	19 年
22	SA 藤井寺	大川 正彦	広報部長	18 年
23	SA 河内長野	元坂 道幸	事務局次長	10 年
24	堺 SA 連協	上山 乃婦子	おもちゃ部会長	20 年
25	いずみ SA	百々 トミ子	地区会長	23 年

編集後記「鎌倉・平安時代」に匹敵する「疫病と戦」特にコロナ禍は3年に及び生き残れるか各業界！航空業界、観光業界、JRも経営改善を求められている厳しい現状が続く・・・平成29年～令和3年の5年間、新鞍理事長お疲れ様でした。退任挨拶に有る様二つのテーマに取組まれ、特に提案営業による「委託事業」に成果を出し、府SA連協の基金改善に寄与されました。30周年を終え「地区SAが元気になれば府SA連協も元気なる」を合言葉に「新SAあり方委員会」を発足、支援を戴き、プロジェクト解散後も課題の取組が進んでいます。

新体制、新理事長の村松理事長国際交流実績センスを活かし、前例に囚われず改革、改善を期待します。併せて新役員の新理事長への支援活動もよろしくお願ひいたします。

開けない夜は無い(阪神開幕9連敗)令和4年度(2022.4～2023.3)健康寿命テーマに、頑張りましょう。シルバー通信52号をお届けします
広報部 M,O

「怖い」「痛い」「入りにくい」

整骨院にはそんなイメージがありませんか？



当院では、いつも明るく、患者様の心に寄り添って、
ヒアリングからしっかり痛みの根本を見極めます！
女性スタッフも居ますので、お気軽にご相談下さい！



自費メニューで
鍼・アロマなども
行っていますので
ご相談下さい！



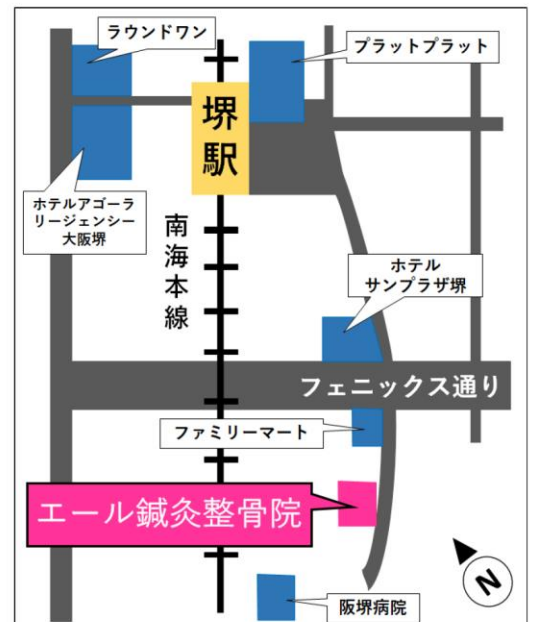
院長 北川浩一

エール鍼灸整骨院

施術時間	月	火	水	木	金	土
9:00~ 20:00	○	○	○	○	○	※

※ 土 9:00~17:00 日/祝 休診

TEL:072-228-2009



〒590-0973 堺市堺区住吉橋町1-2-16
パレロイヤル堺1階

南海本線「堺駅」
南出口 徒歩7分